

## 1 目的

本市宮津地区は、さんぱーる（物産館）、スパ・タラソ天草（温泉センター）、天草四郎ミュージアム（資料館）、大矢野総合スポーツ公園（スポーツ施設）等の公共施設が集積し、多くの利用者が集う地区であることから、観光の目的地としての魅力をさらに高めるとともに、持続可能なまちづくりを推進していくための将来ビジョンとして、宮津地区将来構想を策定するもの。

## 2 市関連計画への位置付け

- 上天草市第2次総合計画（後期基本計画R1～R5）
  - 観光の目的地としての魅力を高めるとともに、熊本天草幹線道路整備を見据えたまちづくりを推進するため、宮津地区将来構想を策定することを明記。
- 上天草市グランドデザイン
  - さんぱーるやスパタラソ等を中心とした観光拠点化を図るエリアとして位置付け。

## 3 対象エリア



### 市施設 12施設

- ①カントリーパーク花海好
- ②スパ・タラソ天草
- ③宮津海遊公園
- ④大矢野老人福祉センター
- ⑤大矢野陶芸館
- ⑥大矢野農山村広場公園
- ⑦上天草物産館さんぱーる
- ⑧バス停
- ⑨天草四郎公園
- ⑩天草四郎ミュージアム
- ⑪大矢野総合スポーツ公園
- ⑫天草広域連合北消防署訓練棟予定地

### 県等所有施設 4施設

- ⑬上天草警察署
- ⑭水産研究センター
- ⑮里海づくり協会
- ⑯天草広域連合北消防署

## 4 宮津地区のポテンシャルと課題

### 〔ポテンシャル〕

- 一つのエリアに食、温泉、歴史資料館、運動施設等が集積しており、集客力の高い魅力的なエリア。
- 新たに新大矢野図書館の建設を予定しており、カフェテラスや休憩スペース等も併設することから、地域住民のみならず観光客を含めた関係人口の創出が期待できる。
- 熊本天草幹線道路の開通により、交通アクセスが向上し、入込客の増加が期待できる。

### 〔課題〕

- 個々の施設がバラバラに立地・運営しており、施設間の連携や動線が機能していない。
- 宮津交差点は、時期（観光シーズン、盆、正月等）によって、渋滞が発生し、観光客のみならず、地元住民にとっても大きな課題となっている。
- 熊本天草幹線道路の開通により、入込客は増える一方、通過交通の懸念もあるため、エリア全体の在り方を検討する必要がある。（魅力あるエリアとして立寄りたくなる仕組み作り）

## 5 宮津地区将来構想策定に向けた実施体制

### 【宮津地区将来構想策定検討委員会】

地元区長、市議会、社会福祉協議会、観光協会、商工会、農協、漁協、さんぱーる、天草広域連合北消防署、上天草警察署、地域おこし協力隊、天草広域本部（オブザーバー）

### 【庁内関係課】

企画政策課、監理課、危機管理情報課、農林水産課、産業政策課、観光おもてなし課、建設課、都市整備課、健康づくり推進課、高齢者ふれあい課、社会教育課、開発プロジェクト推進課（事務局）

### 【受託者】

株式会社環境デザイン機構（福岡市）

## 6 スケジュール

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討委員会	●	●	●	パブリックコメント ←→		●	

## 宮津地区将来構想策定に係る今後のスケジュール

日 程	内 容
9月30日	<p>【第1回検討委員会】</p> <p>①事業概要・会議スケジュール            ②宮津地区の現状と課題について            ③宮津地区の在り方について</p>
10月下旬	<p>【第2回検討委員会】</p> <p>①将来構想の骨子案について            ②ゾーニングの検討</p>
11月下旬	<p>【第3回検討委員会】</p> <p>①将来構想素案について            ②イメージパースの検討について</p>
12月中旬～ 1月中旬まで	<p>【パブリックコメント】</p> <p>①将来構想素案に係るパブリックコメントの実施。            (約1か月間)</p>
2月上旬	<p>【第4回検討委員会】</p> <p>①将来構想案（パブリックコメントを踏まえた修正）の            確認</p>
2月下旬	<p>将来構想策定</p>